

平成 27 年 2 月 20 日

平成 27 年度 「 所 信 表 明 」

～事業計画の展開について～

平成 27・28 年度、関東ゴルフ連盟の理事長就任にあたり、平成 27 年度の事業計画を述べさせていただきます。

引き続き、「魅力ある KGA」を基本に据えてまいりたいと存じております。

国が経済成長、地方創生、女性活躍の戦略を進めている中で、当連盟といたしましてもその流れに沿ったゴルフ振興策を考え、ゴルフ界が元気になっていただきと思っています。

また、2020 年東京オリンピックの開催は、ジュニア育成の良い目標になるかと思っています。

本年度は次の 5 つの課題を重点目標として、活動してまいります。

第 1 項：

連盟内 1 都 10 県の加盟倶楽部を中心にゴルフ振興による地域活性化を図る課題について
ゴルフ界を取り巻く環境は厳しい状況が続いている中で、連盟地区内での集客動向などに格差が出ております。

この現状を踏まえ、新たに「ゴルフ振興支援委員会」を設立して、1 都 10 県が夫々主体となって新しいゴルフ振興策を策定できるように、支援してまいります。シニア並びに女性プレーヤーにも目を向け、新しい企画を検討致します。

第 2 項：

規約、規約内細則を抜本的に見直し、組織革新・強化を図る課題について

現在、加盟倶楽部が 517 倶楽部、主催競技が 116 競技 132 日と、関東ゴルフ連盟は大きな組織に発展してきております。

今後、当連盟の組織を衰退させることなく発展させる為には、現在の実態に沿った体制への見直しが必要となってまいりました。

本課題につきましては、前期に引き続き、総務委員会で検討してまいります。

第3項：

競技委員会の世代交代に伴う競技委員の資質維持・向上と、「R&A 入門ルールスクール(レベル1)」の普及と競技委員の「R&A 入門ルールスクール(レベル2)」受講を図る課題について

連盟は、競技の管理・運営につつまして、ゴルフ界をリードする役割を担っております。このことから、主催競技参加選手が納得できる競技を展開する体制を整えてまいります。

JGA が準備致しました「R&A 入門ルールスクール(レベル1)」に対しまして、当連盟は既に308名が受講をしております。

本年度はJGAの指導の下、各都県の加盟倶楽部を対象としたスクールの開催を進めますので、倶楽部競技の振興に繋げてもらいたいと思います。本課題は、競技委員会と規則部会が担当して、進めてまいります。

第4項：

2020年東京オリンピックに向けて「TEAM KGA ジュニア」の指導体制の強化と、都県ジュニア育成活動の充実を図る課題について

来年には、いよいよオデジャネイロオリンピックが開催され、ゴルフ界を始め各競技団体で準備の話題が目立ってまいりました。

現在進めております「TEAM KGA ジュニア」の活動は、2020年東京オリンピックを目指して、JGAの選手強化方針に沿って、地区連盟としての役割を果たしております。お陰様で「TEAM KGA ジュニア」の活動の成果は、徐々にではございますがでてきております。本年度もジュニア育成委員会で、本活動プログラムに連動した各都県ジュニア育成委員会での活動の展開を充実してまいります。

第5項：

JGA ハンディキャップ(USGA ハンディキャップシステム準拠)導入に伴い、新ハンディキャップの加盟倶楽部への普及を図る課題について

昨年度より導入されたJGA/USGA ハンディキャップシステムの加盟倶楽部内への普及はまだまだの状況であります。JGAの指導の下で、各都県内でのJGA/USGA ハンディキャップシステムを使用する競技開催の計画・準備・実施を推し進め、加盟倶楽部への普及に対する課題を、ハンディキャップ委員会を中心に進めてまいります。

以上の5つの課題を重点目標として展開をし、連盟内の各都県の多様化した問題に対処し、加盟倶楽部にとって加盟価値を実感できる施策を見出す活動を推進してまいりたく存じます。改めまして、皆様のご協力とご支援を心よりお願いを申し上げます。

以上